

登録コード	ASE02500	開講年度	2026			
授業科目	特別インターンシップ（短期）				担当教員	竹野 誠記
英文授業名	Advanced Internship				副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室	現地		授業形態	実習	備考	1-2年生
信大コンピテンシー	非該当					
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ					
	【専攻】より豊かな人間社会の構築に貢献できる知識と技術、倫理観を修得している。				⇔	学内の講義や実験・演習等で習得した知識や技術を、実社会でどう活かしてゆくべきかを考え、業務内容と照らし合わせながら、実践的応用能力や問題解決能力を養うことができる。この経験を大学生活に活かすとともに、実社会に必要な基礎能力を養い、職業意識を形成することができる。
授業の概要	・企業等が実施するインターンシップ実習（就業体験）に参加する。 ・60時間以上（10日間程度）の実習を履修（単位化）の対象とする。（オンラインインターンシップを除く）					
Contents:	Participate in internship training (work experience) conducted by companies. Practical training of 60 hours or more (approximately 10 days) will be taken (credited). (excluding online internships)					
授業計画	・原則として夏休み、春休み期間中とする。（通常授業と重ならない可） ・無給であること。費用は学生負担（交通費、宿泊費については実習先により異なる）。 ・成績評価の観点から、受講者の家族や親族が経営する会社（実習担当者が家族親族等）である場合は、履修（単位化）の対象外となる。					
成績評価の方法	レポート（日誌・成果報告書・お礼状コピー）及び評価書に基づいて総合評価する。。					
成績評価の基準	レポート内容（日誌・成果報告書・お礼状コピー）及び評価書（出欠遅刻早退・研修態度・理解力・実行力・協調性等）に基づいて評価する。 卓越している（90～100%）：上記の項目全ての内容が優れていて、教員を感心させるレベルにある かなり上にある（80～89%） やや上にある（70～79%） 水準にある（60～69%） 水準より下にある（59%未満）					
事前事後学習の内容	レポート様式は、農学部ホームページ＞在学生の方へ＞在学生の各種手続き＞インターンシップ受講の手続きからダウンロードし、A4で印刷。 事前学習 ・「キャリアデザイン」または、eALPS「インターンシップ参加届」＞マナー講座を受講する。 ・なぜインターンシップに参加するのか、どのような経験を得たいのか、目的を明確にする。 ・ホームページ等を利用して、実習先の概要を調べる。 ・基本のビジネスマナーを押さえる。 実習中 ・「インターンシップ日誌」を毎日作成し、受入先担当者に、コメントの記入を依頼してください。 ・実習初日に受入先担当者に「評価書」の用紙をお渡しし、依頼する。 実習後 ・「日誌（実習中）」「成果報告書」「お礼状」を作成する。 その他、実習先指定のレポート等があれば、提出期限内に実習先へ送付する。 「日誌」「成果報告書」「評価書（厳封）」「お礼状の写し」を提出する。 提出先：学務窓口					
履修上の注意	・令和8年度「インターンシップの手引き」を確認し、不明点は、早めに学務に確認する。 ・履修希望者は、受入先決定後、学務グループ窓口に申し出て、履修方法及びレポートについて説明を受ける。 必ず実習前までに「受入先決定届（履修登録用）」を提出する。（事後の申請は不可） 本授業は「受入先決定届」の提出をもって履修登録を行うため、履修登録期間中の履修登録は不要。 ・学研災学研賠保険（または生協の保険）に加入中であること。 ・トラブル、事故等が起きた場合には、実習先担当者及び学務へ至急連絡すること。					
質問,相談への対応	随時対応しますので、学務グループ学生支援担当または所属コース教務・学生委員へ、質問・相談してください。					
学生へのメッセージ	目的意識をしっかりと持ち、信州大学の看板を背負っていることを自覚して、真摯な態度でインターンシップに臨んでください。					
【教科書】	特記なし。					

【参考書】	特記なし。
-------	-------